

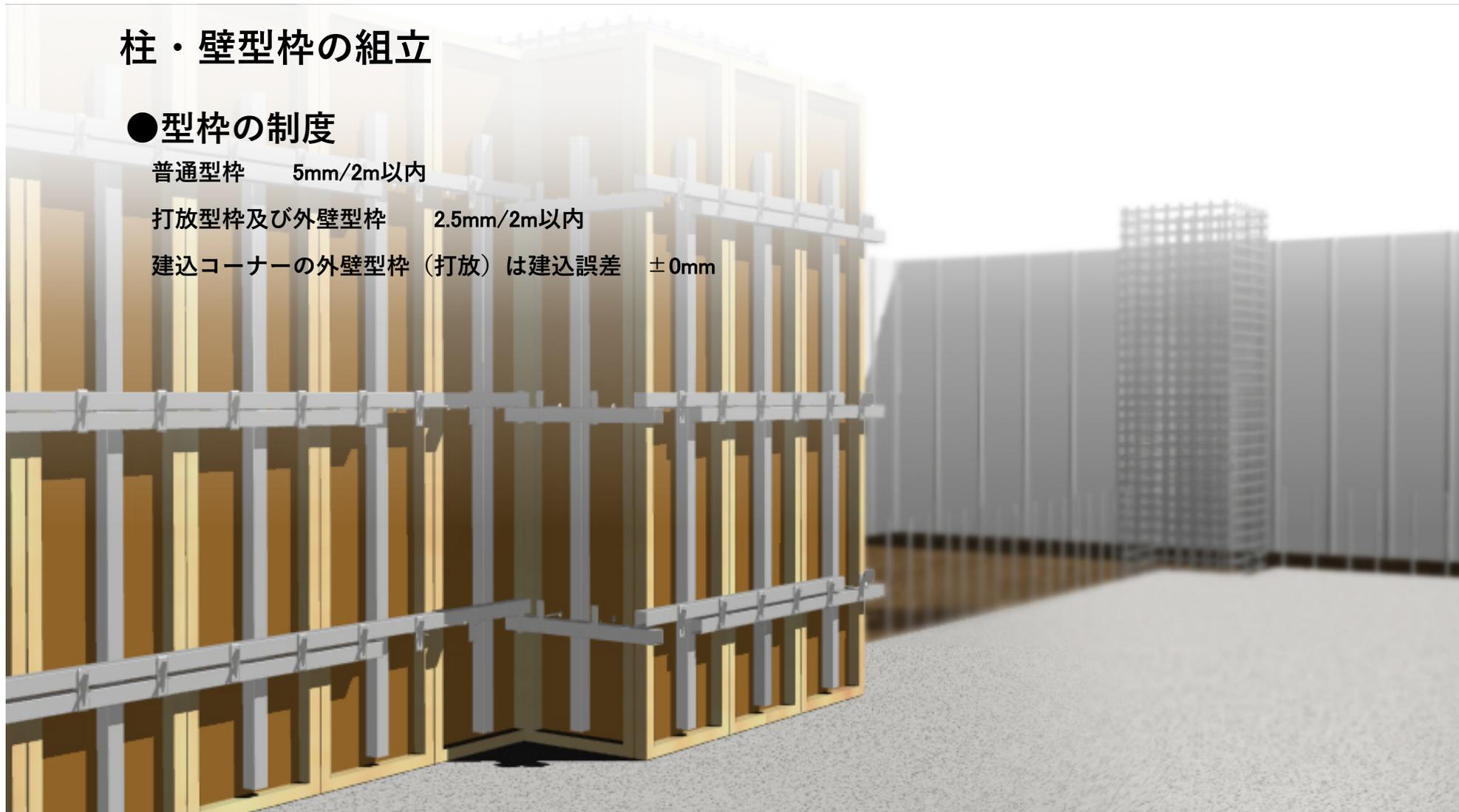
柱・壁型枠の組立

●型枠の制度

普通型枠 5mm/2m以内

打放型枠及び外壁型枠 2.5mm/2m以内

建込コーナーの外壁型枠（打放）は建込誤差 $\pm 0\text{mm}$



柱・壁型枠の組立

△脚立、立馬上より転落する。

△昇降時に転倒、墜落する。

△柱・壁型枠の倒壊。

△他業者等、周囲の人に長尺物があたり負傷させる。



柱・壁型枠の組立

- ◎立馬、脚立の設置位置凸凹の確認。
- ◎身を乗り出して作業はしない事。
- ◎昇降時の足元確認。
昇降時は手に物を持たない事。
《昇りは前向き、降りは後向き》
- ◎倒壊防止措置をサポート、栈木等で行う。
- ◎周囲状況を確認する。
特に大きな部材は一人作業しない。



柱・壁型枠の組立

○脚立は再上段での作業はしない。

○立馬は昇降用手摺を設置し昇降時に使用する。

《特に立馬は昇降・作業時揺れが激しいので注意!!》

《基本的には倒壊しそうな状態で作業を中断しない事。》



セパレーター取付（フォームタイの締付）

- セパレーターピッチの確認。
- 締めすぎ、締め忘れに注意する。



セパレーターの取付（フォームタイの締付）

- △脚立、立馬上より転落する。
- ◎立馬、脚立の設置位置凸凹の確認。
- ◎身を乗り出して作業はしない事。
- ◎昇降時は手に物を持たない。



返し壁の組立（高所作業者、ローリングタワーを使用する場合）

- 柱、壁内の清掃状況の確認。
- 高所作業車10m未満特別教育修了者の確認。



返し壁の組立（高所作業者、ローリングタワーを使用する場合）

△高所作業車、ローリングタワーより転落。



返し壁の組立（高所作業者、ローリングタワーを使用する場合）

高所作業車の使用5ヶ条

- 1.有資格者による作業
- 2.ステージ上での安全带使用
- 3.移動時、周囲の確認（人、作業床、凸凹等）
- 4.作業床、昇降時上部挟まれ注意
- 5.ステージ上の片付の徹底



返し壁の組立（高所作業者、ローリングタワーを使用する場合）

ローリングタワーの使用5ヶ条

- 1.昇降時の転倒注意
- 2.作業時の安全帯使用
- 3.移動時、周囲の確認（人、作業床、凸凹等）
- 4.移動時は、上部に人は乗らない
- 5.ステージ上の片付の徹底

